総務省承認 No. 2 5 8 7 2 承 認 期 限 平成17年3月31日まで

厚生労働省社会保険庁

# (秘) 公的年金加入状況等調査調査票

## 調査のご協力のお願い

この調査は、国が運営する国民年金・厚生年金・共済年金(これらをまとめて「公的年金」といいます)について、全国からくじ引きの要領で選ばれた地区内の全世帯(約9万世帯)を対象として実施するものです。

お答えいただいた個人の内容は、統計資料の作成以外に使用することは法律で固く禁じられており、例 えば年金加入・保険料納付の督励や徴税の資料などに使用されることは絶対にありません ので、ご安心し てありのままをお答えください。

この調査は、より詳しい統計資料を作成するため、厚生労働省が既に実施した「国民生活基礎調査」の 調査地区から対象世帯を選ぶ方法をとっております。したがって、繰り返しの調査のお願いとなります が、今後の年金事業の運営に必要不可欠な資料となりますので、ご協力をお願いいたします。

なお、この調査の精度を高めるため、あなたの納付記録などと組み合わせて統計分析することがありますが、個人の情報は統計資料の作成以外に使用することは絶対にありませんので、ご安心ください。

## ご回答の方法

11月30日時点で15歳以上の方のみお答えください。

世帯員一人ごとにそれぞれ調査票に記入してください。

当てはまる番号・記号に (問6 - 1、問10、問20~22については最も主要なものには )をつけてください。その他所要の箇所に文字・数字を記入してください。

# 現在の就業状況(アルバイト等も含みます)についてお伺いします。就業されていない方は問4へお進みください。

- (問1)あなたの就業形態について、当てはまるものを1つ選んで、番号に をつけてください。雇用者 の場合は、さらにその形態について、記号に をつけてください。
  - 1. 自営業主(個人経営の商店主や農業主など)
  - 2. 家族従業者(自営業主の手伝い)
  - 3. 雇用者(会社役員、正社員、パート・アルバイトなどの非正社員)
    - a. フルタイム(1日の所定労働時間と1か月の所定労働日数が、一般社員と同じ) b. フルタイムでない(1日の所定労働時間または1か月の所定労働日数が、一般社員より短い〕
  - 4. その他(臨時のアルバイトや内職など)

## 【問1で3-bと答えた方のみお答えください】

- (問1-1)1月あたりの労働日数、1週間あたりの労働時間はおよそどれくらいですか。それぞれ1つずつ選んで、番号に をつけてください。
- (1)月あたり 1.1~5日 2.6~10日 3.11~15日 4.16~20日 5.21日以上
- (2) 週あたり 1.10時間未満 2.10~20時間未満 3.20~30時間未満 4.30時間以上

#### 【問1で 3-a または 3-b と答えた方のみお答えください】

- (問1-2)あなたは、以下の派遣又は下請従業者に該当しますか。派遣社員の場合は、さらにその形態について、記号に をつけてください。
- 2. 下請従業者 b. 常用型(派遣会社に常用労働者として雇用されている) (下請として請負先の事業所で働いている)
- 3. いずれにも該当しない

(問2)	あなたの勤務先や経営する店	・事業などについて、	当てはまるものを 1 つ選ん <sup>-</sup>	で、番号に をつ
けてく	ください。派遣社員の方は、「	「18.広告,その他の事	業サービス」を選んでくださ	il 1.
1.	農林漁業	2. 鉱業	3. 建設業	4. 製造業
5.	電気・ガス・熱供給・水道業	6. 情報通信業	7. 運輸業	8. 卸売・小売
9.	金融•保険業	10.不動産業	11.飲食店,宿泊業	12.医療•福祉

16.対個人サービネ(洗濯・理美容・浴場等),娯楽業 17.修理,物品賃貸,廃棄物処理 18.広告,その他の事業サービス 19.政治・経済・文化団体 20.その他のサービス 21.公務

14. 学術・開発研究機関

(問3)あなたの勤務先の事業所(派遣社員の場合は派遣元の事業所)や経営する店・事業などについて、当てはまるものを1つ選んで、番号に をつけてください。2 の場合は、さらにその規模について、記号に をつけてください。

- 1. 法人
- 2. 法人でない(個人経営) ──► 「a. 正社員5人未満
- 3. 国・地方公共団体

13.教育·学習支援業

<sup>し</sup> b.正社員 5 人以上

## 現在のあなたの在学状況についてお伺いします。学生でない方は問5へお進みください。

(問4)あなたが現在在学している学校を、次の中から1つ選んで、番号に をつけてください。

昼間制学校1. 4年制大学2. 大学院3. 短期大学4. 高等専門学校・高等学校5. 専門学校・各種学校6. その他

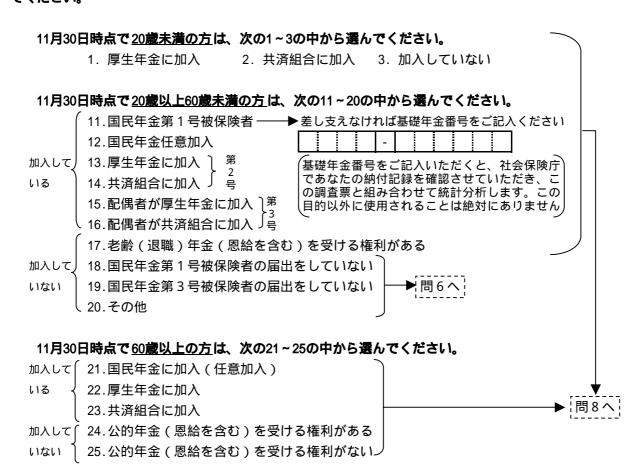
夜間・通信制学校 {7. 夜間学校

8. 通信制学校

15. 複合サービ ス(郵便局・農協等)

# あなたの公的年金(国民年金・厚生年金・共済年金)の加入状況をお伺いします。

(問5)現在、公的年金に加入していますか。当てはまるものを次の中から1つ選んで、番号に をつけ てください。



# 公的年金に加入していない理由などをお伺いします。問5で18~20と答えた方のみお答えください。

- (問6) 公的年金に加入していない理由を次の中から1つ選んで、番号に をつけてください。
  - 1. 加入の届出をする必要はないと思っていたから
  - 2. 忙しくて届け出る暇がなかったから
  - 3. うっかり届出を忘れていたから
  - 4. 制度のしくみを知らなかったから
  - 5. 加入したくない

## 【問6で5と答えた方のみお答えください】

(問6-1)公的年金に加入したくない理由について、次の中から当てはまるものすべてに 、そ のうち最も主要な理由には をつけてください。

- 1. 保険料が高く、経済的に納めるのが困難だから
- 2. 納める保険料に比べて、もらえる年金額が少ないと思うから
- 3. 公的年金をもらわなくても、他の収入や貯蓄などで暮らしていけると思うから
- 4. これから保険料を納めても加入期間が少なく、年金がもらえないと思うから
- 5. もらえる年金額がわからないから
- 6. 年金制度の将来が不安だから
- 7. 納めた保険料がどのように使われているのかよくわからないから
- 8. 自分以外にも加入せず保険料を納めていない人がいるので加入する必要はないと思うから
- 9. その他

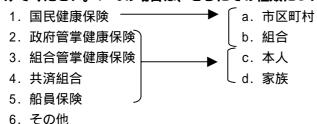
## (問7)今後、公的年金に加入する意思はありますか。

1. ある

2. ない

#### 医療保険制度などへの加入状況をお伺いします。

(問8)現在加入している医療保険制度について、当てはまるものを次の中から1つ選んで、番号にをつけてください。1~5の場合は、さらにその種類について、記号にをつけてください。



#### (問9)生命保険または個人年金に加入していますか。

- 1. 生命保険にのみ加入
- 2. 個人年金にのみ加入
- 3. 生命保険・個人年金とも加入
- 4. どちらにも加入していない

# 老後の生活設計についてお伺いします。

- (問10)老後を過ごすためにどのような収入を考えていますか。次の中から最も主要なものに 、その他 にあれば (2つまで)をつけてください。
  - 1. 公的年金(厚生年金・国民年金・共済年金) 2. 貯蓄の取り崩し
  - 3. 資産の運用(株式投資・アパート経営等)
  - 5. 企業年金(厚生年金基金等)・退職金
  - 7. 自分で働く
  - 9. 考えていない

- 4. 個人年金(民間保険会社・郵便局等)
- 6. 国民年金基金・個人型の確定拠出年金
- 8. 配偶者や子供に期待
- 10.その他

# 年金制度についてお伺いします。

- (問11)20~59歳の国民は公的年金に加入し、保険料を納付しなければならない(保険料を免除され ている方や第3号被保険者を除く)ことをご存じでしたか。
  - 1. 知っていた
- 2. 知らなかった
- (問12)国民年金では、経済的に保険料を納めることが困難な場合は、市区町村の窓口に申請することに より、保険料の全額または半額が免除される仕組みがあることをご存じでしたか。
  - 1. 知っていた
- 2. 知らなかった
- (問13)学生は、市区町村の窓口に申請することにより、保険料の納付が猶予される仕組み(学生納付特 例制度といいます)があることをご存じでしたか。
  - 1. 知っていた
- 2. 知らなかった
- (問14)公的年金には、老後の生活を保障する老齢年金だけでなく、病気や事故で障害が残ったときにも らえる障害年金があることをご存じでしたか。
  - 1. 知っていた
- 2. 知らなかった
- (問15)公的年金には、老齢年金や障害年金のほか、一家の働き手が亡くなったときにもらえる遺族年金 があることをご存じでしたか。
  - 1. 知っていた
- 2. 知らなかった
- (問16)老齢基礎年金(老後にもらえる国民年金と厚生年金・共済年金の一階部分)を受け取るためには、 公的年金に加入し、保険料を納めた期間と免除されていた期間の合計が25年以上必要となることをご存 じでしたか。
  - 1. 知っていた 2. 知らなかった
- (問17)公的年金は、民間の個人年金とは異なり、物価や国民生活水準の上昇に応じて年金額が改定され、 もらえる年金の実質的な価値がなるべく目減りしないような仕組みが取られていることをご存じでした か。
  - 1. 知っていた
- 2. 知らなかった
- (問18)全国民共通の基礎年金(国民年金と厚生年金・共済年金の一階部分)は、民間の個人年金とは異 なり、年金額の1/3を国が負担していることをご存じでしたか。
  - 1. 知っていた
- 2. 知らなかった
- (問19)基礎年金の財政は、厚生年金、共済年金、国民年金など全ての公的年金制度の加入者の負担で支 えられていることをご存じでしたか。
  - 1. 知っていた
- 2. 知らなかった

(問20)公的年金について最も知りたいことに てください。	、その他に知りたいことがあれば (2つまで)をつけ				
1. 自分がもらえる年金額の見込み 3. 年金をもらう権利を得るための条件 5. 公的年金と民間の個人年金の違い 7. 公的年金の制度の仕組み	<ul><li>2. 年金の保険料について</li><li>4. 自分の被保険者記録</li><li>6. 年金の手続き(免除、年金の請求、転退職時の手続き等)</li><li>8. 公的年金財政の見通しと将来の見通し</li><li>10.その他</li></ul>				
(問21)国民年金に加入する義務がありながら、加入手続きをしない人に対する国の対策についてどう思					
	検料を徴収すべき などのペナルティーを課すべき				
(問22)国民年金に加入しながら、保険料を納めない人(免除されている人を除く)に対する国の対策についてどう思いますか。あなたの考えに最も当てはまるものに、次に当てはまるものにをつけてください。  1. 国民年金の制度の意義・役割や有利な点について分かりやすく広報し、納付を促すべき					
2. 保険料の免除に該当するときは、個人I 3. 保険料を納めない人に対しては、強制征 4. 保険料を納めない人には、免許証やパス 5. 保険料を納めない人の年金額は減額され 6. その他	徴収(財産差押え)を行うべき スポートを発行しないなどのペナルティーを課すべき				
最後に、ご回答を統計的に分析するために、あ	なたご自身のことについてお伺いします。				
<b>(F1)あなたの性別</b> 1. 男 2. 女					
(F2)あなたの生年月日 1. 明治 2. 大正 3. 昭和 4.	平成				
<ul><li>(F3)あなたの配偶の関係</li><li>1. 配偶者あり → a. この世帯にいる</li><li>b. この世帯にはいる</li><li>2. 配偶者なし</li></ul>					
(F4)あなたのご氏名 (調査員が確認後、切り離します)					
フリガナ 氏 名	ご氏名は、ご回答内容に不明な点がある場合などに確認させていただくため、念のためご記入いただくものであり、他の目的に使用されることは絶対にありません。この調査票が社会保険庁へ返送される際は、ご氏名の部分は切り離されます。				